

東京大学と Google が AI 分野の社会連携講座を設置

2024年11月1日、国立大学法人東京大学（東京大学）と Google 合同会社（Google）は、AI 分野の社会連携講座である「AI 相利共生未来社会講座（AI Symbiotic Future Society Program）」を、東京大学大学院総合文化研究科に設置しました。本社会連携講座は、東京大学と Google による共同研究、および Google の AI 教育コンテンツによる次世代 AI 人材の育成を目的としています。

東京大学と Google は、人間と AI が相利共生する「AI 相利共生未来社会」を実現するため、これまで第一期（2020-2022）・第二期（2022-2024）パートナーシップを締結し、AI 分野における産学連携を深めてきました。今回の社会連携講座は、2024年9月27日に締結した第三期（2024-2027）パートナーシップの一環として、これまでの産学連携を更に強化し、「AI 相利共生未来社会」の実現に向けて、両者が協力して取り組んでいくことを示すものです。



社会連携講座の概要

- 名称 : AI 相利共生未来社会講座（AI Symbiotic Future Society Program）
- 設置期間 : 2024年11月1日～2027年10月31日（3年間）
- 設置部局 : 東京大学大学院総合文化研究科
- 連携機関 : Google 合同会社
- 担当教員 : 大関 洋平（東京大学大学院総合文化研究科 准教授）

社会連携講座の研究・教育

- 研究内容 : Google の大規模言語モデル（Gemini、Gemma 等）を活用した自然言語処理、医療、教育における東京大学と Google による共同研究。
- 教育内容 : Google の AI 教育コンテンツ（AI Essentials、Gemini Academy 等）を活用した次世代 AI 人材の育成。Google の AI 教育コンテンツの学内外への展開。

東京大学 理事・副学長 津田敦

「本講座の開設は、AI 分野における世界的なリーダーである Google との連携をさらに深化させるものであり、大変喜ばしく思います。AI 技術の進展は目覚ましく、社会への影響もますます大きくなっています。本講座が、AI 技術の社会実装を加速させ、人間と AI が共生する未来社会の構築に貢献することを期待しています。」

Google 日本法人代表 奥山真司

「Google は、AI 技術を社会に役立てるために、責任ある研究開発と社会実装に取り組んでいます。東京大学とのこの度の社会連携講座では、AI 研究や人材育成を通じて、社会貢献を目指します。この講座が、日本の AI 分野の発展に少しでも貢献できれば幸いです。」

本日発表した社会連携講座が、AI 技術の社会実装を加速させ、人間と AI が相利共生する「AI 相利共生未来社会」の実現に貢献することを期待しています。

本件に関する報道機関のお問い合わせ先

国立大学法人 東京大学 産学協創部

E-mail: kyoso-info.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp

※メールの件名の冒頭に【Google・東大】とご記載ください。